

第22期 第6回練馬区男女共同参画推進懇談会 会議録（要録）

- 1 日時 令和7年8月26日（火）午後6時～午後7時30分
- 2 場所 多目的会議室
- 3 出席者 13名（傍聴者2名）
欠席9名（安蔵委員、立川委員、田代委員、渡邊委員、濱屋委員、山崎委員、
新平委員、松井委員、佐川委員）

片居木委員	村田委員	八巻委員	井戸委員
清水委員	伊藤委員	長田委員	佐治委員
高桑委員	服部委員	藤井委員	宮地委員
中田委員			

事務局（人権・男女共同参画課）

4 議題

- (1) 第5次練馬区男女共同参画計画の実施結果および評価について
(2) 審議会等の女性の任用状況の調査結果について

5 報告事項

(事務局)

委員および職員体制について報告。

6 議事内容

次第に基づき審議を実施した。

- (1) 第5次練馬区男女共同参画計画の実施結果および評価について
(質疑内容等)

(委員)

資料4「第5次練馬区男女共同参画計画 成果指標一覧」(以下、「資料4」という。)

の指標一覧について目標の達成状況等について見やすい工夫を要望

(会長)

「資料4」-5の「ハラスメント経験者」の割合が増加しているが、これは、相談窓口の認知度の向上によるものか。

→相談件数ではなく、過去5年間に経験があるかを問う設問。

ハラスメント等について世の中の認知が上昇した結果もあると考察している。

(委員)

「資料4」-10の30歳代健診の受診率は、女性の健診率か。

→女性に限っていない数値。区で実施している健診のため、勤め先等での健診受診率が上昇しているためと推察。健康部門で作成しており令和7年度からの計画では指標を変更している。

(委員)

可能であれば、資料の事前送付を要望する。

第5次計画の期間中、顕著に成果が現れたものはあるか。

顕著に上昇するような取組を実施していく工夫が必要と感じている。

→「資料4」-4の配偶者等からの暴力の相談窓口の認知度は、34.7%から51.7%となった。工夫した内容としては、女性トイレなどに、DV相談カードを設置したことが認知の向上の一助になったと考える。カードには、身体的暴力のみならず、生活費を渡さない、行動監視などについてもDVに該当することを記載し、気づいてもらう工夫を実施した。

(委員)

「資料4」-7の職場の介護・育児支援制度を利用したことがある人の割合も上昇している。これは、女性に限定されている数値か。「資料3」の実施状況を確認すると、介護に悩む女性等の介護者に対する相談の実施件数がある。介護は女性のみではいという視点も必要となってくると感じる。

→「資料4」-7については、女性に限定している割合ではない。また、6次計画においても、性別を限定せず、支援体制を強化する旨掲載している。

「資料3」の実施状況の記載の記載についても、性別に限らない支援の実施について所管課に確認を行う。

(委員)

「資料4」の成果指標の考え方について確認したい。重点事業と紐づけて実施するなどするとわかりやすいのではないか。

→指標は、区民意識調査で調査を行い、区が重点的に実施していく取組に紐づける形で設定。指標設定時には、当会議にてご意見を伺い設定した経緯がある。

(委員)

育児介護の取得実績については、育児・介護をしている人数から収集しているのか。

アンケートの取得時点で工夫が必要

→全回答者が回答する項目として設定。調査項目は当懇談会の意見を伺い決定したものの。次回実施時にもご協力をお願いする。

(委員)

区民意識調査の概要をお示しいただきたい。

→全委員に区民意識調査の結果は配布済であるとともに、調査実施時に、当懇談会の意見を伺った上で、調査項目を設定し実施したものである。

(2) 審議会等の女性の任用状況の調査結果について

(質疑内容等)

(委員)

団体推薦からの女性が少ない点について、区は取組を実施しているのか。

→区管理職の集まる会議において情報共有を行い、女性の任用率向上のため働きかけを行っている。

(委員)

審議会の出席状況はどうか。任用が目的ではなく、審議に参加することが目的と思う。

→庁内として会議の出席率上昇のため、オンライン会議を設定する、会議の時間帯を調整するなどの工夫を実施している。

(会長)

団体推薦からの推薦者に女性が少ないというのは、我々の意識を変革していく必要もある。ジェンダーギャップ指数においても政治における分野が足を引っ張っている。懇談会としても、引き続き志を持って臨んでいきたい。

7 その他

(1) 令和7年度の各委員の活動について（報告）

- ① 男女共同参画センターえーるフェスティバル パネル作成委員
- ② 男女共同参画情報紙「MOVE」編集委員
- ③ 男女共同参画の集い「ねりまフォーラム」実行委員

各委員より、活動報告が行われた。

(2) 次回開催について

(会長)

年明けを予定している。後日、事務局より連絡を行う。